

用語解説

(1) 受動喫煙防止対策

受動喫煙（室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされるこという）を防止するための措置として敷地内禁煙、建物内禁煙、または、喫煙室が隔離された空間であること。

(2) ニコチン依存症管理料

禁煙の希望のあるニコチン依存症患者に対する一定期間の禁煙指導について、入院中の患者以外の患者に対して一定の施設基準を満たした施設において、「禁煙治療のための標準治療書」に沿って禁煙治療を行った場合に、保険が適応できるもの。

(3) 食生活改善推進員

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、地域の食生活改善や健康づくり活動を展開しているボランティア組織「食生活改善推進協議会」の一員のこと。

(4) ヘルスサポートトレーナー

地域での運動教室等において健康増進を目的とした運動を安全に行うための指導者として所定の講習を受講した後に試験を受け、合格した者に大分県知事が認定する資格である。

(5) 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまでそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいう。

(6) B型およびC型肝炎ウイルス

肝炎を引き起こすウイルスには、A、B、C、D、Eなど様々なものがあるがそのうちB型とC型については、持続感染により慢性肝炎を起こし、遺伝子の突然変異が積み重なり、肝細胞がんへと進展すると考えられている。日本人では、肝細胞がんの80%がC型肝炎ウイルス、15%がB型肝炎ウイルスの持続感染に起因すると試算されているため、日本の肝がんの予防としては、肝炎ウイルス感染予防と、肝炎ウイルスの持続感染者に対する肝炎発症予防が柱となる。

(7) ヒトパピローマウイルス (HPV)

ヒトパピローマウイルスは100以上種類があるが、そのうち、子宮頸がん(子宮の入り口付近のがん)の発生と関連があるハイリスクタイプは約15種類である。し HPVは性交渉により感染するが、感染しても多くの場合は無症状のうちに排除されると考えられている。しかし、HPVが排除されずに感染が持続すると、一部に子宮頸がんの前がん病変や子宮頸がんが発生すると考えられている。HPVの感染を予防するために、2009年10月にHPVワクチンが承認され、2013年4月から定期接種の対象となっている。今後は、ワクチン接種によるHPV感染予防と、それによる子宮頸がんの発症予防効果がきたいされている。

(8) がん診療連携拠点病院

全国どこでも質の高いがん医療を受けることができるよう、都道府県による推薦により、概ね二次医療圏に1か所を目安として厚生労働大臣が指定する医療機関。がんに関する診療体制、研修体制、情報提供体制などの指定要件がある。

(9) がん診療連携協力病院

がん診療拠点病院と同程度の診療機能や診療体制が整っている病院として、大分県が指定する医療機関。

(10) インフォームド・コンセント

患者が医療行為を受ける前に、医師及び看護師等から十分な説明を受け、内容を理解し、納得したうえでその医療行為に同意すること。

(11) セカンドオピニオン

患者がより納得のいく治療方法を選択するため、診断や治療方法について、主治医とは別の第三者的な立場の医師に意見を聞くことができるしくみ。

(12) 地域連携クリティカルパス

地域内で各医療機関が共有する、各患者に対する治療開始から終了までの全体的な治療計画(急性期病院から回復期病院を経て自宅に帰り、かかりつけ医にかかるような診療計画で、医療連携体制に基づく地域完結型医療を具体的に実現するもの)をいう。診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を含めあらかじめ診療内容を患者に提示・説明することにより、患者が安心して医療を受けることができる。

(13) 緩和ケア

WHOの定義によると、「生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題D、スピリチャルな問題に対して的確な評価を行い、それらの障害とならないように予防した

り、対処することで、QOLを改善するアプローチである。」とされている。

(14) 在宅療養支援診療所

在宅療養支援診療所とは、24時間体制で往診や訪問看護を実施する診療所のこと。平成18年度の医療保険制度の改正により新し設置され、これからの在宅ケアと在宅医療の中心的な役割を担う診療所である。

(15) ターミナルケア

末期がんなど、治癒困難な患者と家族を対象とする、身体・精神両面の終末期のケアのこと。医師や看護婦だけでなく、ソーシャルワーカーや心理職なども参加したチームで取り組むもので、延命治療が中心ではなく、苦痛と死に対する恐怖の緩和を重視し、自由と尊厳が保障された生活の中で死を迎えられるよう援助する。

(16) 地域がん登録

がん患者の発病から治癒または死亡に関する情報を収集し、この情報を基に、(1)がん罹患率の推計、(2)がん患者の受診状況の把握、(3)がん患者の生存率の推計、(4)罹患の地域別状況の分析、(5)疫学研究への利用を行うことにより、がん対策を効果的に推進するもの。